

就職対策講座 敬語（尊敬語） 練習問題①

一、 次の傍線部を尊敬語に改めましょう。

問1 部長はそのように言っていました。

問2 明日の3時に来ます。

問3 そのことを知っていますか。

問4 どうぞ遠慮なく食べてください。

問5 これを見たことがありますか。

問6 お客様がもういます。

問7 お客様が帰ります。

問8 先生も昔この本を読んでらしい。

問9 社長がくれました。

問10 こちらに座ってください。

【↓答えは次のページ】

【解答例】

問1 おっしゃって 問2 いらっしゃいます 問3 ご存じですか
問4 召し上がって (お召し上がり) 問5 ご覧になった
問6 いらっしゃいます 問7 お帰りになります 問8 お読みになった
問9 ください 問10 お座りになって/お掛けになって

【ポイント】

※尊敬語は「その行為を行う主体」に対する敬意を表します。(「～が/～は」にあたる部分)

- (例) 問1 部長はそれようにおっしゃっていました。(「部長」に対する敬意)
問6 お客様がもういらっしゃいます。(「お客様」に対する敬意)
問7 お客様がお帰りになります。(「お客様」に対する敬意)
問8 先生も昔この本をお読みになったらしい。(「先生」に対する敬意)
問9 社長がくださいました。(「社長」に対する敬意)

※尊敬語には、①「いらっしゃる」「おっしゃる」などの尊敬語に言い換える場合、②通常の語を「お～になる」という形に言い換えて表す場合、③通常の語を「～(ら)れる」で表す場合があります。

(例)「言う」→①「おっしゃる」 「読む」→②「お読みになる」、③「読まれる」

[主な尊敬語一覧] () 内は通常の語

おっしゃる (言う)	いらっしゃる (行く・来る・いる)	
ご存じだ (知っている)	召し上がる (食べる・飲む)	
ご覧になる (見る)	お召しになる (着る)	お掛けになる (座る)

※ 名詞や形容詞の前に「お」や「ご」を付けて尊敬語を表す場合もあります。

- (例1) 客が帰ります。 → おお客様がお帰りになります。
(例2) 社長は今忙しいです。 → 社長は今お忙しいです。
(例3) 満足いただけましたか。 → ご満足いただけましたか。
(例4) 仕事は何ですか。 → ご職業は何ですか。